

工 事 番 号	部 長	課 長	課長補佐	係 長	検 算 者	設 計 者
設計年度	令和5年度		河川浚渫工事（普通河川梨和川支川）  三原市 下北方一丁目			
施工月日	令和	年 月 日				
施工方法	請 負					
工事期間						
工 事 概 要			起 工 理 由			
施工内容 施工延長 L=338.4m 土砂撤去 V=110m <sup>3</sup>						

設 計 書

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市下北方一丁目 河川浚渫工事（普通河川梨和川支川）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
  - ・ **土木工事共通仕様書（令和4年8月）広島版**
  - ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
  - ・ その他関連規格類

### 第2節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
  - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
  - (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
  - (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

### 第3節 建設副産物

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-1-19 建設副産物「4. 再生資源利用計画」、 「5. 再生資源利用促進計画」及び「6. 実施書の提出」によらず、次のとおり取り扱う。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画  
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

- 2 計画の掲示及び公表  
 受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。  
 現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。  
[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page\\_03060101credas1top.htm](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm)
- 3 実施書の提出  
 受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。
- 4 工事現場の管理体制  
 受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

## 第2章 施工条件

### 第1節 用地

- 1 現場の復旧  
 原形復旧とする。

### 第3節 公害対策

- 1 公害防止  
 施工方法 掘削作業において、民家に隣接しているため、低騒音型機械を使用するものとする。  
 建設機械・設備 低騒音型機械
- 2 事前・事後調査  
 調査区分 事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。  
 （設計変更の対象とする。）  
 調査時期 施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）  
 調査内容 柱，屋根，壁，基礎，建具等の傾斜，損傷状況  
 範囲 監督員と協議するものとする。

### 第2節 安全対策

- 1 交通誘導員・警戒船・保安要員  
 工事期間中は、交通誘導員を1（人／日）見込んでいる。

### 第3節 建設副産物

#### 1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は，公の関与する埋立地，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また，搬出先として，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって，正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお，工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は，発注者と受注者が協議するものとする。

#### 2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には，保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また，届出事項を変更する場合は事前に変更届を，保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし，産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

### 第4節 その他

#### 1 工事中機資材の仮置き

場所 受注者が責任をもって確保すること。

なお，借地料が発生した場合においては，受注者が負担すること。

#### 2 工事保険等

受注者は，本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また，加入した保険等については，保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお，加入に必要な保険料等は，設計で現場管理費に見込んでいる。

#### 3 法定外の労災保険 の付保

1 本工事において，受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2 受注者は，建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき，法定外の労災保険の契約締結したときは，その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は，政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり，（公財）建設業福祉共済団，（一社）建設業労災互助会，全日本火災共済協同組合連合会，（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で，労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

### 第3章 設計金額

#### 第1節 堆積土量

施工に先立ち現地測量を実施し，計画図面の作成及び埋設土量の算出を行い発注者と協議を行うこと。

#### 第2節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和4年8月）『1-1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては，排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお，使用する排出ガス対策型建設機械について，基準値による設計変更は行わない。

### 第3章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または，その内容に疑義が生じた場合は，監督員の指示を受けること。

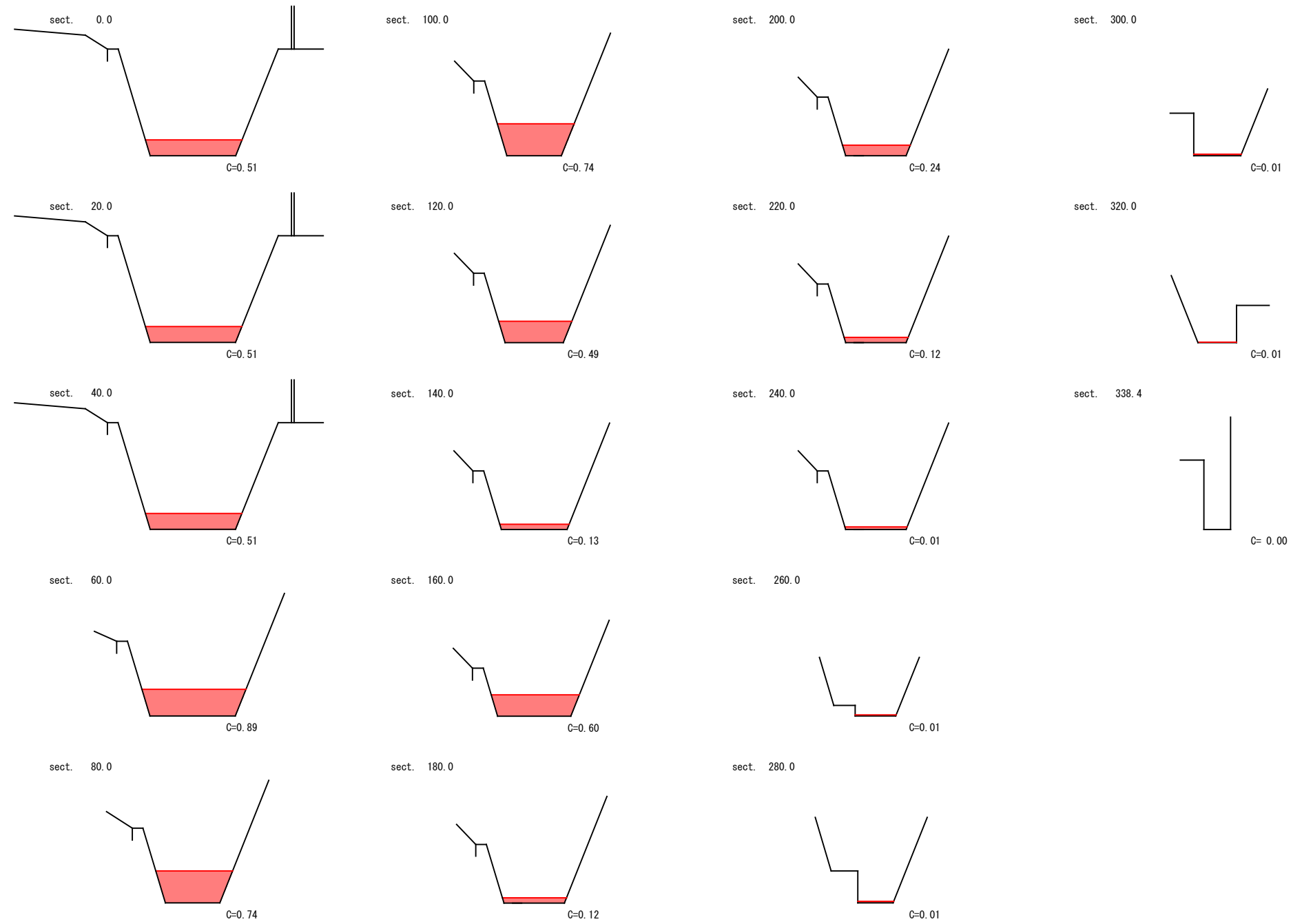
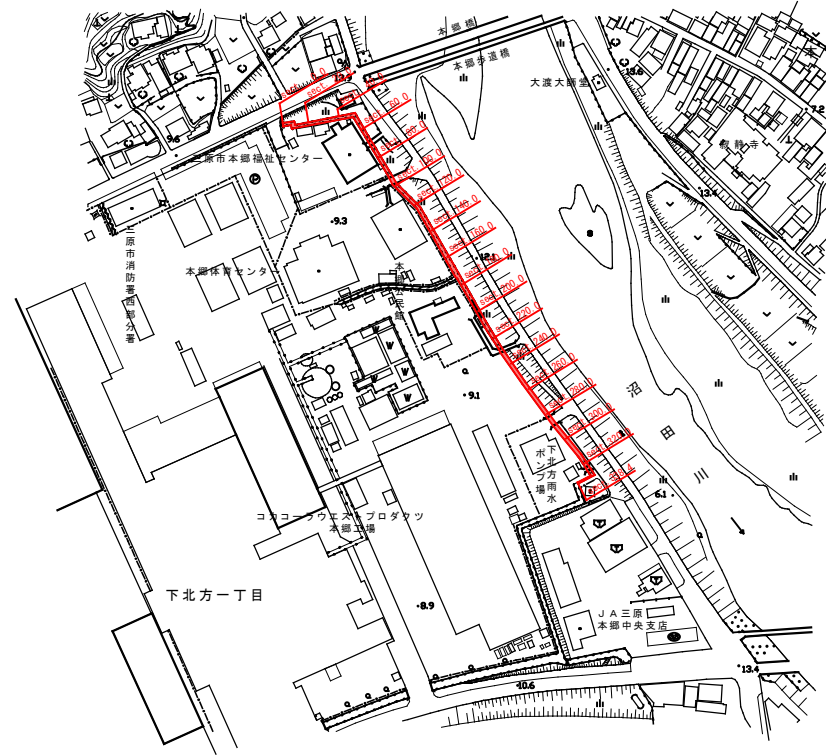
# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
河川修繕		式	1	レベル1
河川土工		式	1	レベル2
掘削工		式	1	レベル3
掘削	土砂	m3	110	レベル4
土砂等運搬	土砂	m3	110	レベル4
積込(ルーズ)	土砂	m3	110	レベル4
残土処理工		式	1	レベル3
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	10	レベル4
** 直接工事費 **				
準備費				
準備費		式	1	レベル2
準備費		式	1	レベル3
木根等処分費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				



# 横断図

# 平面図



図面番号	/	縮尺	図示
事業年度	令和5年度		
工事名	河川浚渫工事(普通河川梨和川支川)		
種別	設計図	番号	1/1
名称	普通河川梨和川支川		
工事箇所	三原市下北方一丁目		
三原市			

# 参 考 资 料

—河川浚渫工事（普通河川梨和川支川）—



# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 65 三原市(本郷) 00-05.03.01(0)  1 公共(一般)	凡例 Co ……コンクリート      As ……アスファルト DT ……ダンプトラック      BH ……バックホウ CC ……クローラクレーン      TC ……トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
	当世代 01 河川工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 03 補正しない	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
河川修繕					Y1B02 レベル1
河川土工	1	式			Y1B0201 レベル2
掘削工	1	式			Y1B020101 レベル3
掘削 土砂	1	式			Y1B02010101 レベル4
掘削補助機械搬入搬出	110	m3			SPK22040016 00
機械掘削工(小型バックホウ)	1	回			単第0 -0001 表
土砂等運搬 土砂	110	m3			SG1D0001001 00
不整地運搬車 5,000m3未満 BH(クローラ型) 山積0.45/平積0.35m3	110	m3			単第0 -0002 表
	110	m3			Y1B02010102 レベル4
	110	m3			S1010005 00
	110	m3			単第0 -0004 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
積込(ルーズ) 土砂	110	m3			Y1B02010108 レベル4
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	110	m3			SPK22040007 00 単第0 -0006 表
残土処理工	1	式			Y1B020108 レベル3
土砂等運搬 土砂	110	m3			Y1B02010802 レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離3.5km以下(2.5km超)	110	m3			SPK22040002 00 単第0 -0007 表
残土等処分	110	m3			Y1B02010803 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
土砂処分費	110	m3			F0000000001 00
仮設工	1	式			Y1B0208 レベル2

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工					Y1B020821 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1B02082101 レベル4
	10	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	10	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
準備費					Z0005
準備費					YZZ05 レベル2
	1	式			
準備費					YZZ05001 レベル3
	1	式			
木根等処分費					YZZ05001001 レベル4
	1	式			
運搬(伐木除根) 機械施工 除根作業無し DID区間無し 距離6.5km以下(5.0km超)					SPK22040177 00
	410	m2			単第0 -0008 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 【準備費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
草木処分費	4	m3			#0047 F0000000005 00
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...















# 施工単価表

積込(ルーズ)

SPK22040007

単第0 -0006 表

土砂

土量50,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 42.99%

労務構成比:

39.35%

材料構成比: 17.66%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

201.89000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3	42.99%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00014 MTPT00014
運転手(特殊)	39.35%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	17.66%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=1 土量50,000m3未満		

# 施工単価表

土砂等運搬

SPK22040002

単第0 -0007 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離3.5km以下(2.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 47.26% 労務構成比:

37.92% 材料構成比: 14.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

963.56000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.26%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	37.92%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.82%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=17 距離3.5km以下(2.5km超)			B=3 バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3) D=1 DID区間無し		

# 施工単価表

運搬(伐木除根)  
 機械施工 除根作業無し  
 機械構成比: 48.40%

SPK22040177

単第0 -0008 表

DID区間無し 距離6.5km以下(5.0km超)

1

m2 当り

労務構成比:

37.76%

材料構成比:

13.84%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

11.87900

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	48.40%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	37.76%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.84%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 機械施工 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=2 除根作業無し D=19 距離6.5km以下(5.0km超)		

# 数量総括表

—河川浚渫工事（普通河川梨和川支川）—

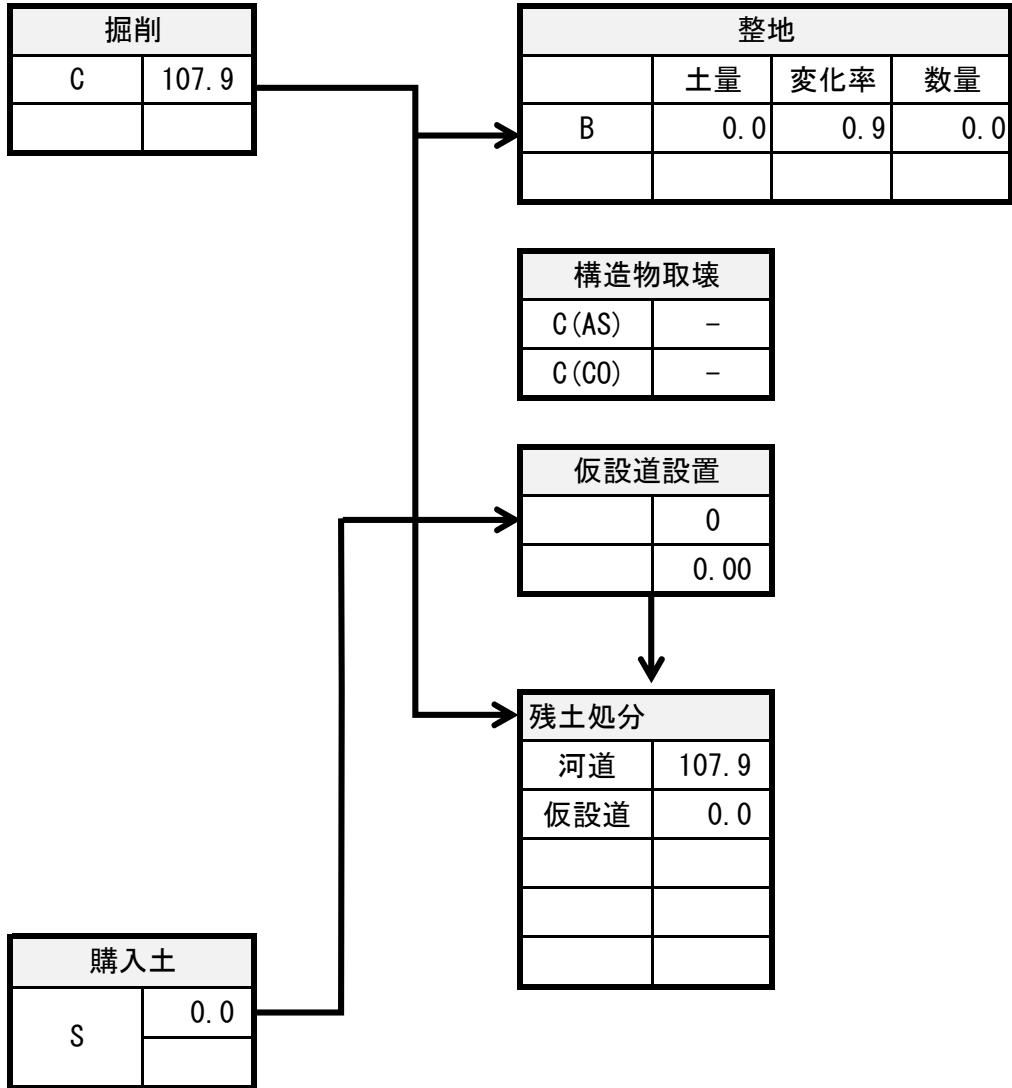




河川浚渫工事（普通河川梨和川支川）

測 点	距 離	土砂撤去			断面	平 均	体積	断面	平 均	平積	摘 要
		断面	平 均	立積							
SECT 0.0		0.51	0.51	0.0							
SECT 20.0	20.0	0.51	0.51	10.2							
SECT 40.0	20.0	0.51	0.51	10.2							
SECT 60.0	20.0	0.89	0.70	14.0							
SECT 80.0	20.0	0.74	0.82	16.3							
SECT 100.0	20.0	0.74	0.74	14.8							
SECT 120.0	20.0	0.49	0.62	12.3							
SECT 140.0	20.0	0.13	0.31	6.2							
SECT 160.0	20.0	0.60	0.37	7.3							
SECT 180.0	20.0	0.12	0.36	7.2							
SECT 200.0	20.0	0.24	0.18	3.6							
SECT 220.0	20.0	0.12	0.18	3.6							
SECT 240.0	20.0	0.01	0.07	1.3							
SECT 260.0	20.0	0.01	0.01	0.2							
SECT 280.0	20.0	0.01	0.01	0.2							
SECT 300.0	20.0	0.01	0.01	0.2							
SECT 320.0	20.0	0.01	0.01	0.2							
SECT 338.4	18.4	0.00	0.01	0.1							
合計	338.4			107.89			0.00			0.00	

# 土量配分表



# 参 考 图

—河川浚渫工事（普通河川梨和川支川）—

# 位置図

